

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● C. ディフィシル毒素遺伝子検出

(NAAT 検査としてのCDトキシンB 遺伝子検出)

(依頼コード No.86176)

受託開始日 2019年9月2日(月) 受付分より

クロストリジオイデス・ディフィシル(*C.difficile*)は、抗菌薬や抗がん剤の長期使用により腸内細菌叢のバランスが崩れると、抗菌薬に耐性を有する*C.difficile*が異常増殖し、トキシンA、トキシンBと呼ばれる毒素を産生することにより腸管粘膜を傷つけ、*C.difficile*感染症(CDI)を発症します。CDIは近年、北米やヨーロッパを中心に増加傾向にあり、リボタイプO27型株などに代表される強毒株による重症例や死亡例が増加してきたことからCDIの診断、治療、感染管理に対する関心が高まってきました。

CDIの早期診断は、患者への適切な治療により重篤化を防止すると同時に、院内感染の防止対策を講じるためにも重要となります。

本検査は、CDIで最も重要なトキシンB遺伝子の検出の他に、リボタイプO27型株関連遺伝子(バイナリートキシン遺伝子および変異型tcdC遺伝子)も検出可能なため、O27型株の推定にも有用です。

NAAT : Nucleic acid amplification test
NAAT検査とはCDI診療ガイドラインに掲載されている核酸増幅検査の呼称です。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼(報告)コード No.	86176 (親) C.ディフィシル毒素遺伝子検出
	(子) 86177 Toxin B遺伝子
	(子) 86178 Binary toxin遺伝子
	(子) 86179 変異型tcdC遺伝子
	(子) 86180 O27型株判定
統一コード	6B642-0000-015-862
検体必要量	糞便 1g
容器	F-1(糞便一般用)
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2~5
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	全て(-)
単位	なし
報告範囲(報告形式)	(-)、(+)、判定不能
検査実施料/判断料	450点/150点(微生物学的検査)
備考	以下の容器での提出は受付不可となります。 F-7: キャリブレア入り便容器 C-3: カルチャースワブプラス C-4: カルチャースワブプラス(チャコール入り)

診療報酬算定について

ア. クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出は、以下の(イ)~(ハ)をいずれも満たす入院患者に対して実施した場合に限り、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「12」ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子検出の所定点数に準じて算定する。

(イ) *Clostridium difficile* (CD)感染症を疑う場合であって、クロストリジウム・ディフィシル抗原定性検査において、CD抗原陽性かつCDトキシン陰性であること。

(ロ) 2歳以上でBristol Stool Scale 5以上の下痢症状があること。

(ハ) 24時間以内に3回以上、又は平常時より多い便回数があること。

イ. 本検査は、関連学会の定める指針に基づき実施した場合に限り算定できる。

ウ. 本検査を行う場合にあっては、区分番号「D026」の「注3」に規定する検体検査管理加算(Ⅱ)、(Ⅲ)又は(Ⅳ)のいずれか及び区分番号「A234-2」の「1」感染防止対策加算1の施設基準を届け出ている保険医療機関で実施した場合に限り算定できる。

エ. 本検査を行う場合、下痢症状並びに本検査を行う前のCD抗原及びCDトキシンの検査結果について診療録に記載すること。

オ. 本検査と区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「15」細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出を併せて測定した場合には、それぞれ算定できる。

【参考文献】

日本化学療法学会・日本感染症学会: Clostridioides(*Clostridium*) *difficile*感染症診療ガイドライン.
感染症学雑誌 92(6), 819-854, 2018.